

一関地区かわまちづくり計画（案）に対する意見の概要及び意見に対する考え方

No.	該当箇所	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	かわまちづくりのテーマ	<p>◎「水辺の森美術館（仮称）」を中心とした周辺環境整備について</p> <p>○「かわまちづくり計画」のさらなる充実のために（提言）</p> <p>(1)かわまちづくりのテーマ(追加)</p> <p>一関の風土と文化にねざし、市民が集い交流する場として水辺の文化環境の整備を図るとともに当市の川の歴史や特性を踏まえた特色ある川の文化と芸術文化を融合した新たな水辺の都市空間を創造する。</p> <p>(2)「水辺の森」公園推進事業</p> <p>① 「水辺の森美術館」（仮称）の建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中東北の中核美術館として、一関市のほかに岩手県南、宮城県北、秋田西部、岩手宮城沿岸一帯の芸術文化の集積を可能とする施設とする。 ● 水辺の森公園内の中心施設として、当公園及び各施設を統括する役割を担うものとする。 ● 子どもたちの体験学習の場そして市民参加型の施設として、学習室や体験工房、発表会や音楽会、講演会も可能とする施設の建設を行い、賑わいと学び、交流の拠点とする。 ● 緑豊かな公園を配置し、幼児から高齢者まで思い思いの楽しみ方が実現できる場とする。 ● 文化庁が行う「文化遺産を活用した地域活性化に係る取組」への支援事業補助制度の積極的活用を検討する。 <p>② 遊水地公園の緑化事業の推進に併せた川と森が融合した自然公園の整備</p> <p>③ 「水辺の森美術館」を活用した芸術文化普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一関ゆかりの森本仁平・草介、福井良之助、白石隆一、長沼守敬氏らの作品展や内外の名作の展示 ● 博物館から美術関連の収蔵品を移動管理するための「収蔵庫」の設置 ● 市民ギャラリーの設置(セミナー・作品展等に活用) ● 映像シアターの設置(巨大スクリーンと音響効果を備えたもの) 	<p>本計画案では、本市の総合計画及び都市計画マスタープラン等に基づき、「ふれあい」、「賑わい」、「観光振興」をテーマに設定しています。</p> <p>テーマの1つに掲げる『「まち」の文化と「かわ」の自然とのふれあい』における「まち」の文化には、芸術文化も含まれるものと考えております。</p> <p>しかし、本計画案には、芸術文化に対する記載がありませんでしたので、地域の特性を生かした芸術文化を発信するため、新たに整備を計画している多目的公園の活用策の一つとして、芸術文化イベントを追加することとします。</p> <p>ご提言の「水辺の森」公園推進事業の中の①「水辺の森美術館」（仮称）の建設につきましては、厳しい財政状況のもとで、公共施設等総合管理計画に基づき公共施設等の総量の見直しと適正配置を進めている現状では、困難であると考えます。</p> <p>②の川と森が融合した自然公園の整備につきましては、今回の計画の中で</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ● ミニコンサートや民俗芸能の演舞が可能となる音楽ホールの設置 ● 市民が学び体験できる学習室や工房の設置 ● 子どもたちが自由に創作活動を行ったり児童生徒作品が発表できる会場の設置 ● 美術館から周囲の美しい景観を眺めることができるスペース ● カフェ、レストラン、ミュージアムグッズ販売所など、来館者がくつろげるスペースの確保 ● 庭園には水がふんだんに使われ、小川や湖沼、水辺の植物群水生生物等自然観察のための環境整備をするなど水辺の美しい自然が体験できるコースをつくるほか、滝や観察池など水辺の美しさを堪能できる空間をつくる。 ● 白鳥や渡り鳥飛来地である一関の特性を生かし冬季間の集客についても工夫する。 ● 「水辺の森」祭典を開催。野外コンサート、地ビールフェスタや花火大会を実施するほかJR東日本とも連携した誘客方法を検討する。 <p>④ 「水辺の森」公園と他のプランとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水辺を周回する「サイクルロード」 ● 市民ランナージョギングモデルコース ● ドッグランやペットカフェなど愛好家が集まるスペース ● 乗馬体験(千厩・太夫黒との関連)、花卉栽培販売、産直、農園、菜の花園、パン工房、温泉、北上川舟運体験等将来を見据えた一関観光の目玉としていく。民間資本や一般市民の起業・参入を促す契機とする。 ● 一ノ関駅との連携を図る循環バス路線(乗降自由切符の発売)の新設例(一ノ関駅～釣山～文化センター～沼田家武家住宅～酒の民俗博物館～一関市役所～配志和神社～遊水地堤防～水辺の森公園)片道 30 分 ● JR東北本線一ノ関駅と山ノ目駅の間にも新駅「水辺の森公園駅」 ● 遊休地を活用した大駐車場の確保 ● 児童生徒が遠足や野外学習など楽しく学習できる環境づくり 	<p>一関水辺プラザエリアにおいて、周囲の自然環境を生かした自然観察池等の整備を計画しており、具体の整備内容を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>今後、一関地区かわまちづくり計画に基づき、具体的な整備内容と利活用策の検討を進める予定としておりますので、③④のご提言についても検討の際の参考とさせていただきます。</p>
--	--	--	--

※意見募集の結果の公表の際には、ご意見の内容以外（住所、氏名等）は公表しません。